

ごあいさつ

令和5年 当番幹事長 中村 藤 浩 (高30)

令和5年度の柏中・柏高同窓会に、多数の皆様から、ご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。

本年度の同窓会は、4年振りに、通常の内容に戻りました事を、当番幹事に致しましても、大変に嬉しく思っております。

伝統の記念文化講演会では、同級生の楊順行さん（ベースボールマガジン社OB、フリーライター）をお願いしましたところ、彼の長年の取材記者の経験を踏まえた、ザックバランな、多岐にわたる貴重なお話しをお聞きでき、感動いたしました。

そして、総会ならびに懇親会では、多くの皆様方のお元氣なお姿を拝見すると共に、以前の様に、様々なお話しをお伺いできた事を、重ねて感謝申し上げます。

「ぎおん柏崎まつり」が終わった後は、『柏中・柏高同窓会で会いましょう！』を合言葉に、今後も、多くの皆様方から、お集まりいただきます様、お願い致します。

本年度の同窓会開催にあたって、ご尽力いただきました同級生をはじめとする関係各位に感謝申し上げますと共に、同窓会ならびに、同窓生の皆様方のご健勝・ご発展を祈念いたし、ご挨拶とさせていただきます。



柏中・柏高同窓会 会長 土田 新 吾

本日は、ご出席ありがとうございます。長かったコロナ禍を乗り越え、総会・記念講演会・懇親会という本来の事業を実施できますこと慶びにたえません。コミュニケーションが制限され、同窓会活動への参加者はかなり減少いたしました。この総会を機に先輩諸氏の活発な活動、ご参加を願っております。

さて、社会がコロナ禍でもたついている間に学校も急激な環境変化にさらされてまいりました。ひとつは少子化のスピードが想像以上であり、学校の統廃合が一段と加速していること。ふたつめは著しい高度情報化社会の進展により学ぶ内容や授業形態の変容が迫られていることです。加えて本校に県立中学校を併設する計画も立ち上がっております。このような状況下、文武両道の伝統を堅持しつつ新しい時代に応え得る学校へと進化することが望まれます。我が同窓会が母校の発展、成長のため力を合わせ強力なバックアップをすべき時がきました。本日をその第一歩としたいものです。有難うございます。



新潟県立柏崎高等学校 校長 北岸 信 治

令和5年度柏中・柏高同窓会総会の開催をお祝い申し上げます。同窓会の皆様には、日頃から学校の教育活動にご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

7月1日新潟柏会総会、7月8日東京柏会総会にお招きいただき、出席させていただきました。どちらの会においても、同窓生の皆様の本校に対する熱い思いを感じ取ることができ、改めて心が引き締まる思いでした。ありがとうございます。

この度、柏崎高校は「三菱みらい育成財団」の高等学校が学校現場で実施する「心のエンジンを駆動させるプログラム」に応募し、採択されました。今後3年間助成金を受けて、生徒の探究活動を活性化させるプログラムを実施します。具体的には、従来のSSH（スーパーサイエンス・ハイスクール）の実践内容を基にして、さらに有意義な活動に昇華して「生徒の心に火をつけるプログラム」を計画する予定です。

同窓会の皆様には、今後とも学校の取組に応援をお願い申し上げますとともに、同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

